

- 問1 1840年に始まったアヘン戦争で、大国である清がイギリスに敗北したという知らせは当時の江戸幕府に大きな衝撃を与えました。この国際情勢の変化を受けて、幕府が1842年に取った対外政策として最も適切なものを選択してください。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. オランダ船以外の外国船との接触を完全に断つため、出島を閉鎖して長崎貿易を停止させた。 | 2. 外国船を見つけ次第砲撃するという強硬な姿勢を改め、燃料や食料を与える「薪水給与令」を出した。 | 3. 沿岸警備をより強固にするため、これまでの「異国船打払令」をさらに厳格化し、一切の寄港を禁じた。 | 4. 清の敗北を教訓として、すぐさま「日米修好通商条約」を締結し、欧米諸国との自由貿易を開始した。 |
|---|---|--|---|
- 問2 産業革命は人々の生活に豊かさをもたらした一方で、急速な都市化に伴う深刻な社会問題も引き起こしました。当時のイギリスの工業都市で発生した社会問題の説明として、適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 工場での生産が過剰になり、すべての製品が売れ残って都市が廃墟化したこと | 2. 労働者が集中したことによる住宅不足や、不衛生な環境による生活環境の悪化 | 3. 農村部での労働力不足により、国内の食料自給率が極端に高まりすぎたこと | 4. 都市部の地価が高騰しすぎて、すべての工場が再び農村部へ移転したこと |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 1853年、アメリカの東インド艦隊司令官ペリーが4隻の軍艦（黒船）を率いて来航し、長年続いていた「鎖国」の状態から日本に開国を迫った場所はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 1. 長崎（長崎県） | 2. 下田（静岡県） | 3. 浦賀（神奈川県） | 4. 箱館（北海道） |
|------------|------------|-------------|------------|
- 問4 1867年、江戸幕府がパリ万国博覧会へ参加し、幕府や薩摩藩が独自に出品を行っていた時期、国内の政治状況は大きな転換点を迎えました。第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上したこの出来事の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| 1. 王政復古の大号令 | 2. 廃藩置県 | 3. 大政奉還 | 4. 版籍奉還 |
|-------------|---------|---------|---------|
- 問5 江戸幕府がアメリカと結んだ日米和親条約の内容に関する説明として、当時の外交状況を踏まえた正しい記述はどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1. アメリカ船に対して燃料や食料を供給するために、下田と函館の2港を開港した | 2. 貿易を本格的に開始するために、横浜や神戸など5つの港を開港した | 3. アメリカ側に領事裁判権を認め、日本側に修正の権利がない不平等な関税制度を受け入れた | 4. 長崎の出島のみで行っていた交渉を中止し、江戸に近い浦賀を唯一の開港場とした |
|---|------------------------------------|--|--|
- 問6 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府が締結し、静岡県の下田と北海道の箱館（函館）の2港を開くことを定めた条約は何ですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 日米修好通商条約 | 2. 日露和親条約 | 3. 日米和親条約 | 4. 日清修好条規 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
- 問7 日米修好通商条約などの不平等条約を改正することは、明治政府にとって長年の悲願でした。このうち、1911年に外務大臣・小村寿太郎が交渉にあたり、完全に回復することに成功した権利はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|----------------|----------|
| 1. 参政権 | 2. 関税自主権 | 3. 排他的経済水域の管轄権 | 4. 領事裁判権 |
|--------|----------|----------------|----------|
- 問8 19世紀、イギリスは清から大量の茶を輸入していましたが、支払いのために自国の銀が大量に流出することを防ぐため、植民地のインドを介した「三角貿易」を行いました。この貿易において、イギリスが銀の不足を解消するためにインドから清へ密輸させ、のちに戦争の引き金となった品物はどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 毛織物 | 2. アヘン | 3. 綿織物 | 4. 生糸 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問9 19世紀、産業革命を達成したイギリスは、植民地であったインドへ向けて、機械で大量生産した製品を輸出するようになりました。これによりインドの伝統的な手工業は大きな打撃を受けました。このイギリスからの輸出品として適切なものはどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 毛織物 | 2. 絹織物 | 3. 綿織物 | 4. 麻織物 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 リンカンが大統領として指導した南北戦争の背景と、彼が果たした役割についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. イギリスによる植民地支配からの独立を目指し、独立宣言を起草して大陸軍を指揮し、初代大統領に就任した。 | 2. 世界恐慌による経済混乱を收拾するため、公共事業を拡大するニューディール政策を実施して失業者の救済に努めた。 | 3. 奴隷制の拡大に反対する北部を率い、戦争中に奴隷解放宣言を出すことで国内外の支持を得て、国家の統一を維持した。 | 4. 西欧列強による不平等条約の改正を目指し、岩倉使節団を派遣するなどして日本の近代化の礎を築いた。 |
|---|--|---|--|
- 問11 幕末の政局において、尊王攘夷運動の中心となった藩が1863年に下関海峡を通過する外国船を砲撃したものの、翌年にイギリス・フランス・アメリカ・オランダの四力国連合艦隊による報復攻撃を受けた出来事に関連して、この砲撃を行った藩の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 土佐藩 | 2. 薩摩藩 | 3. 肥前藩 | 4. 長州藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 1858年、江戸幕府の大老であった井伊直弼が、アメリカとの間で結んだ条約の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. ペリーの来航を受けて締結され、下田と箱館の2港を開港するとともに、アメリカ側に最恵国待遇を認めないことを条件とした。 | 2. 外国の商人が日本で罪を犯した際に日本の法律で裁く権利を確保したが、輸入品にかかる関税の決定権を失う内容であった。 | 3. 開国による混乱を防ぐために井伊直弼が朝廷から正式な許可を得て調印し、国内の物価を安定させるための関税自主権を確立した。 | 4. 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。 |
|---|---|--|---|
- 問13 1858年、幕府の大老を務めていた人物が、天皇の許可である「勅許」を得ないままアメリカと結んだ条約と、その人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|-----------------|
| 1. 日米修好通商条約 — 井伊直弼 | 2. 日米和親条約 — 井伊直弼 | 3. 日米修好通商条約 — 水野忠邦 | 4. 日米和親条約 — 勝海舟 |
|--------------------|------------------|--------------------|-----------------|